

半導体漫遊記

(217)

湯之上隆

G20直後の7月1日、

日本政府はまるで真珠湾攻撃のように韓国に對する輸出規制を発表し、7月4日に半導体の3材料の輸出規制を發動した。そして日本政府は8月2日、韓国を「ホワイト国」から除外することを閣議決定した。

これに対して韓国政府は日本をWTOへ提訴する準備を始めるとともに、韓国も日本を「ホワイト国」から除外し、半導体メモリを輸出規制対象にすると韓国メディアは報じている。もはや日韓関係は、後戻りできない経済戦争に突入してし

まった。韓国産業通商資源省は8月5日、「素材・部品・装備競争力強化対策」を発表し半導体、

「できるようにする」という(日経新聞8月6日)。上記100品目は明確になっっていないが、韓国で日本シェアが高い製品は排除されていくだろう。つまり「シェアが高い」日本製品は、こと韓国向けにおいては「リスク」になってしまった。

製造装置、そこに使われる部品、付帯設備にも広がっていくと思われる。図1に半導体製造に

使われる前工程装置、検査装置、後工程装置の日本シェアとその企業を示す(2018年のデータ)。日本には特微的にシェアが高い装

置があることが分かる。日本製が排除されていくだろう。コータ・デベロップはTELから

使わずAMATに、枚層式洗浄装置はSCREEN、TEL、日立ハイテック、日立ハイテック、日立ハイテック、レーザーテック、東京精密、TEL、DISCO、東京精密、岡本アドバンテスト、アドバンテスト、横河電機、TEL

からSEMESに、テストはアドバンテストから米テラダインへ、次々と機種変更を行うことが予測される。そして日本が世界シェアを独占している

日韓経済戦争が勃発

高シェアは「リスク」に

ディスプレイ、自動車、電機電子、機械・金

野から100品目を戦略品目に指定した。フッ化水素やレジストなど20品目は1年以内、残りの80品目も5年以内には、日本以外の国から安定的に供給

位置があることが分かる。日本製が排除されていくだろう。コータ・デベロップはTELから

韓国SEMESに、ドライエッチング装置はTELから米Lamや

米アプライド(AMAT)に、熱処理装置はTELからAMATに、CMPは荏原製作所を

要するに日韓経済戦争が長引けば、日本の材料メーカーも装置メーカーも、5年後には韓国向けビッグビジネスが消滅する危険がある。日韓両政府は感情的になっていて、どちらも歩み寄ろうとしない。このままでは日本産業界が壊滅する。何とか止める方法はないものか？(微細加工研究所・所長)

ディスプレイ、自動車、電機電子、機械・金

野から100品目を戦略品目に指定した。フッ化水素やレジストなど20品目は1年以内、残りの80品目も5年以内には、日本以外の国から安定的に供給

位置があることが分かる。日本製が排除されていくだろう。コータ・デベロップはTELから

韓国SEMESに、ドライエッチング装置はTELから米Lamや

米アプライド(AMAT)に、熱処理装置はTELからAMATに、CMPは荏原製作所を

要するに日韓経済戦争が長引けば、日本の材料メーカーも装置メーカーも、5年後には韓国向けビッグビジネスが消滅する危険がある。日韓両政府は感情的になっていて、どちらも歩み寄ろうとしない。このままでは日本産業界が壊滅する。何とか止める方法はないものか？(微細加工研究所・所長)

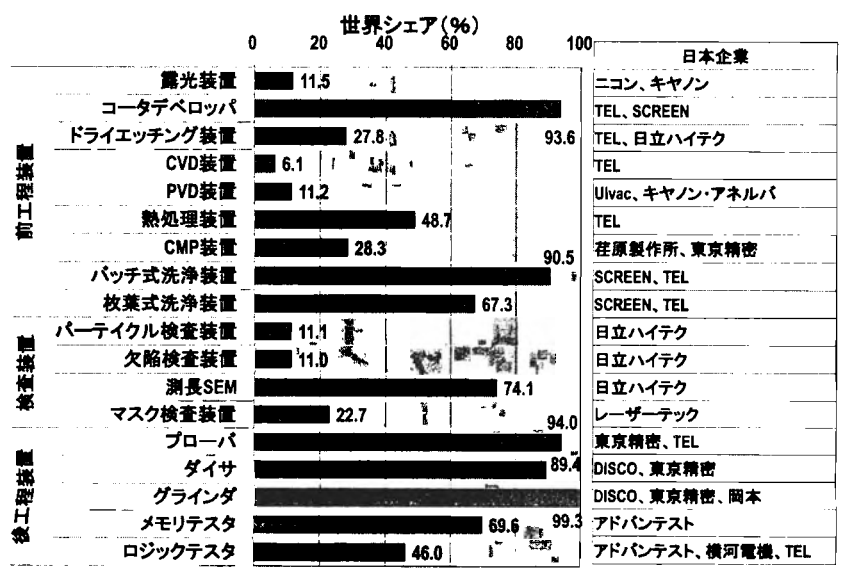


図1 半導体製造装置における日本シェアとその企業

出所:野村証券のデータを基に筆者作成

(微細加工研究所・所長)